平成 29 年度

事　業　報　告

社会福祉法人　名東福祉会

目　　次

名東福祉会のミッション ……3

事業機構……5

利用者の状況 ……7

デイケア事業 ……12
　メイトウ・ワークス
　天白ワークス
　はまなす
　レジデンス日進

ナイトケア事業 ……22

相談支援事業 ……26

サービス品質の向上を目指した取り組み ……32

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（１）健康

・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（２）自己決定の支援

・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

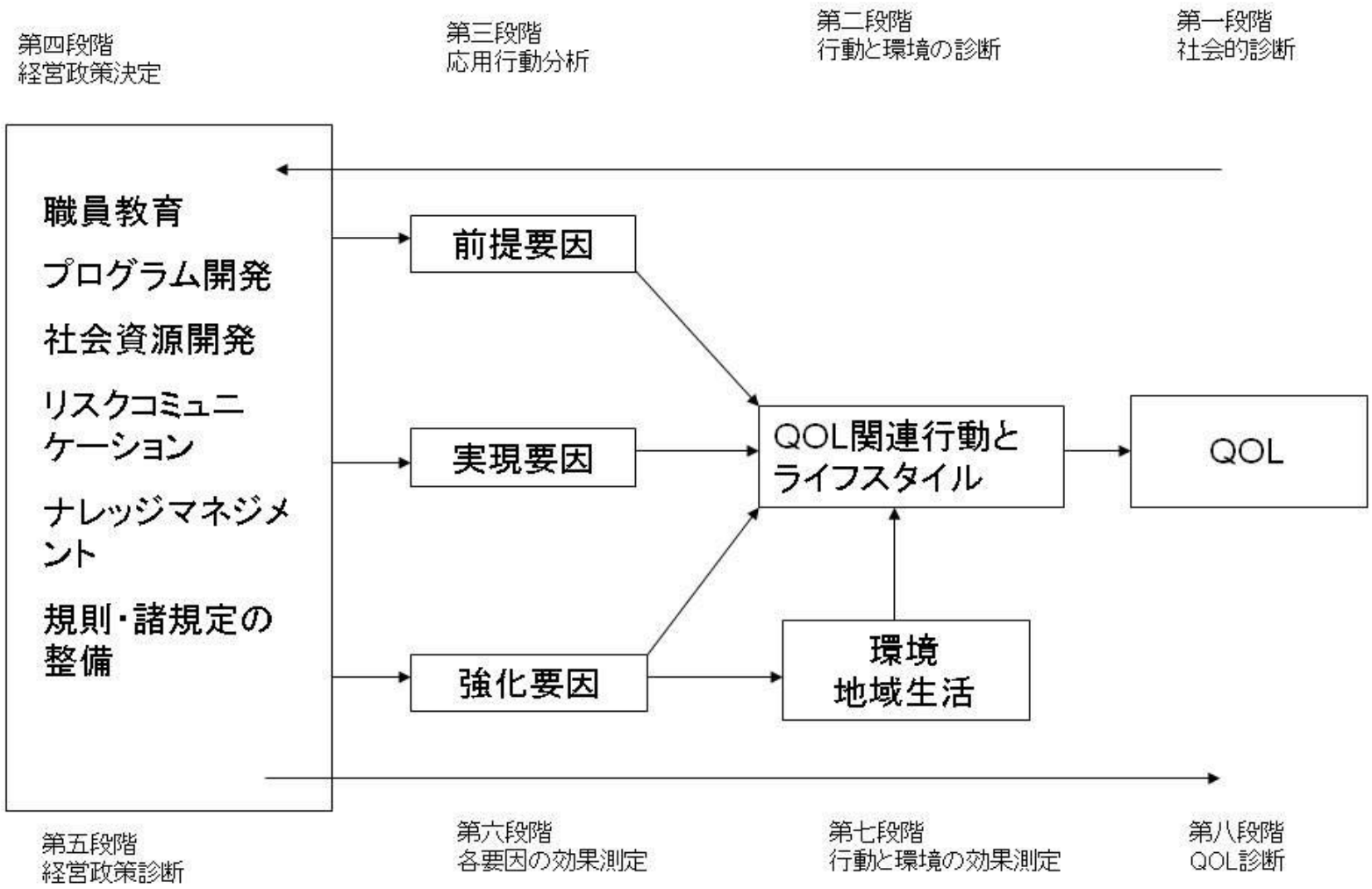
（３）個別支援計画にもとづいた処遇

・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

（４）提供サービスの妥当性の確保

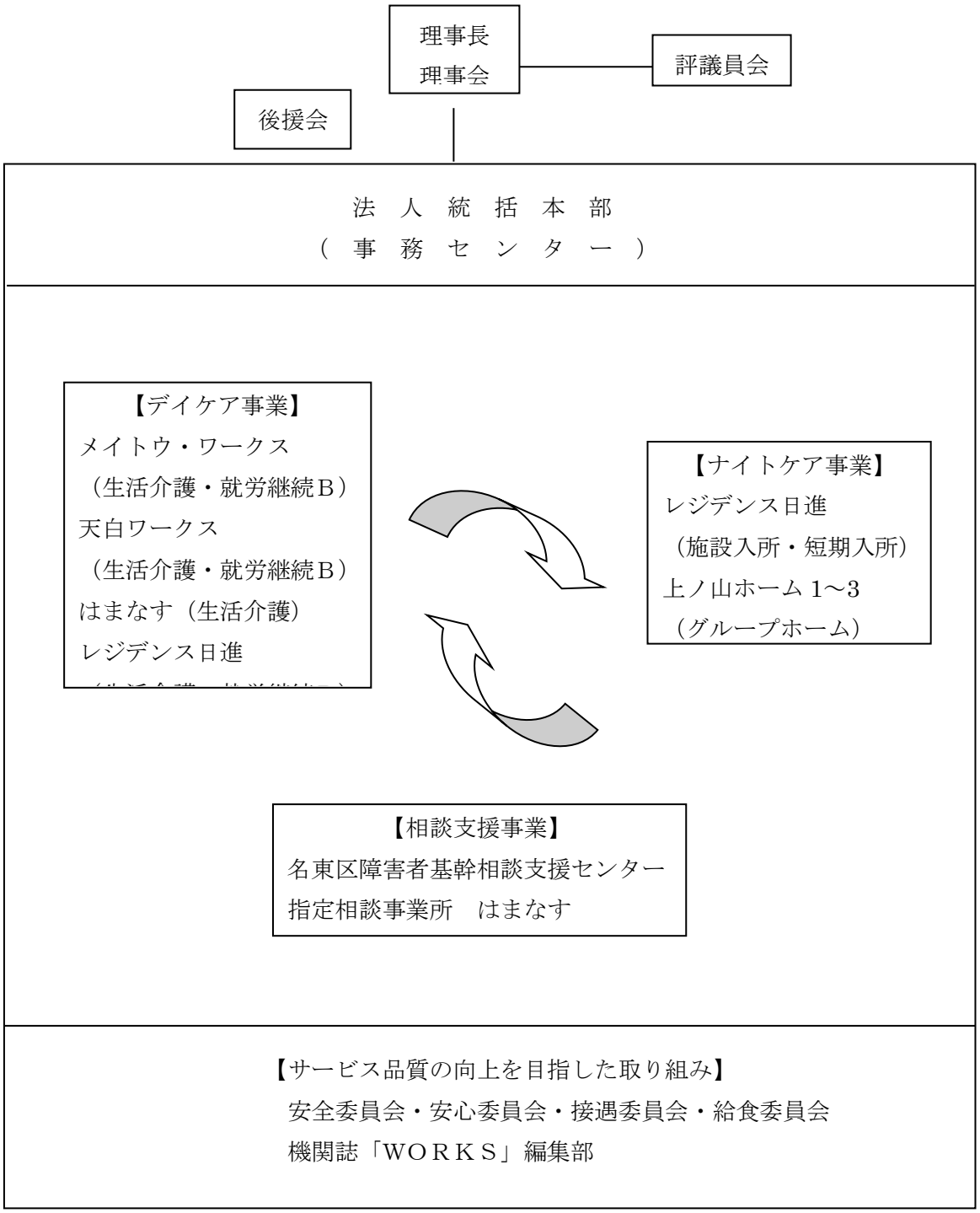
・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
・情報公開に努める。

利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル



事　業　機　構

1. 機構図


理事長
理事会
評議員会
後援会
法　人　統　括　本　部
（　事　務　セ　ン　タ　ー　）
【デイケア事業】
メイトウ・ワークス
（生活介護・就労継続Ｂ）
天白ワークス
（生活介護・就労継続Ｂ）
はまなす（生活介護）
レジデンス日進
【ナイトケア事業】
レジデンス日進
（施設入所・短期入所）
上ノ山ホーム 1～3
（グループホーム）
【相談支援事業】
名東区障害者基幹相談支援センター
指定相談事業所　はまなす
【サービス品質の向上を目指した取り組み】
安全委員会・安心委員会・接遇委員会・給食委員会
機関誌「ＷＯＲＫＳ」編集部

２．職員構成（平成 30 年 4 月 1 日 現在・計 82 名）

	理事長	本部長	事務員	管理者	支援員相談員		看護師	栄養士	医　師
					男	女			
法人全体	1	(1)	3	6(1)	32	36	2	1	1
メイトウ・ワークス				1	4	4	(1)		(1)
天白ワークス				1	3	6	(1)		(1)
はまなす				1	3	4	(1)		(1)
レジデンス日進				1	20	20	1	1	(1)
上ノ山ホーム				(1)					(1)
名東区基幹Ｃ				1	1	2			
指定相談はまなす				1	1				

＊ レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

＊（　）は兼務

利用者の状況

（平成 30 年 4 月 1 日　現在）

名東福祉会は現在、173 名以上の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害福祉サービスの提供を行っています。継続的に、デイケアおよびナイトケア事業を利用されている方が 160 名（うち 25 名が両事業を重複利用）、短期入所や日中一時支援事業等の今年度の利用者が 44 名（うち 31 名が法人デイケア事業も利用）で、グループホーム利用者の中には、就労している方も 3 名みえます。

障害のある方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応えていきたいと考えています。

１．年齢分布

	～19 歳		20 歳～		25 歳～		30 歳～		40 歳～		50 歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1		1	1		3	3	5	9	5	4	3	35
天白ワークス			1	1	4	1	6	4	7	6	4	1	35
はまなす	1		2	1	4		3	3	6	3	1		24
レジデンス日進			1				2	5	14	8	4	6	40
上ノ山ホーム							5	2	6	3	6	4	26
法人全体	2	0	5	3	8	4	19	19	42	25	19	14	160
	2		8		12		38		67		33		

２．居住（出身）地分布

（１）名古屋市内分

	名古屋市												
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	中	東
メイトウ・ワークス	25				1	2			1				1
天白ワークス	2	14	4		4	1			1	1			
はまなす	17	2		1	2	1	1						
レジデンス日進	8	7	5	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
上ノ山ホーム	4	6		1	4	1	1	1		2			
法人全体	56	29	9	3	12	7	3	2	3	4	1	1	1

（２）名古屋市外分

	名古屋市外						小計
	日進	春日井	尾張旭	瀬戸	江南	他県内	
メイトウ・ワークス	4					1	5
天白ワークス	8						8
はまなす							
レジデンス日進	6		1	1	1	1	10
上ノ山ホーム	1	1	1	1		2	6
法人全体	19	1	2	2	1	4	29

市内小計	合計
30	35
27	35
24	24
30	40
20	26
131	160

３．障害の程度：障害支援区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	(平均)
メイトウ・ワークス			2	2	3	1	6	6	4	4	3	4	35(4.3)
天白ワークス			1		3	2	9	3	6	5	3	3	35(4.5)
はまなす					1		5	1	7	1	4	5	24(5.1)
レジデンス日進							3	1	5	6	13	12	40(5.5)
上ノ山ホーム			1		5	2	7	3	4	3	0	1	26(4.0)
法人全体			4	2	12	5	30	14	26	19	23	25	160(4.7)
			6		17		44		45		48		

４．障害の種別

（１）主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	9	8	2	3	6	6	1		35
天白ワークス	12	4	5	1	5	8			35
はまなす	9	2	4	2	4	2		1	24
レジデンス日進	13	7	1	2	6	8	1	2	40
上ノ山ホーム	10	5	1		6	4			26
法人全体	53	26	13	8	27	28	2	3	160
	79		21		55		5		

（２）重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1	1			1		1	2			6
天白ワークス	1	3	1		1		1				7
はまなす		2		1				1			4
レジデンス日進	3	3				1		1			8
上ノ山ホーム			1		1	1			2		5
法人全体	5	9	2	1	3	2	2	4	2		30
	14		3		5		6		2		

５．利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			2		1	1		3	6	6	9	7	35
天白ワークス	1		1	1			8	6	7	3	5	3	35
はまなす	1	1	1	1			2		5	2	8	3	24
レジデンス日進	1	1				1	7	6	13	11			40
上ノ山ホーム						1	17	8					26
法人全体	3	2	4	2	1	3	34	23	31	22	22	13	160
	5		6		4		57		53		35		

６．月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	28.8	29.3	30.2	29.3	28.4	30.2
天白ワークス	35	31.8	32.5	32.5	33.2	32.6	31.7
はまなす	25	23.3	22.9	22.1	22.4	20.7	22.2
レジデンス日進	40	39.2	37.1	38.1	37.0	35.6	37.9
上ノ山ホーム	27	26.3	25.2	26.4	26.0	25.0	25.7

10月	11月	12月	1月	2月	3月
29.1	29.0	29.2	28.7	29.6	29.4
32.3	32.6	32.0	31.2	32.8	32.6
21.4	22.4	22.2	21.8	22.4	22.5
37.2	36.4	35.6	34.0	36.6	37.1
25.1	25.3	24.4	23.9	25.2	25.4

今年度平均	前年度平均	
29.3	28.7	メイトウ
32.3	32.2	天白W
22.2	21.7	はまなす
36.8	38.4	レジデンス
25.3	25.9	上ノ山H

７．短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員７名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
115	121	124	126	108	121	126	104	102	109	110	122	1,388

８．日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員７名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
11	9	10	9	12	7	8	9	9	10	7	9	110

＊ 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市・長久手町・尾張旭市

９．通所施設時間延長サービス利用者数（16：00～17：00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
メイトウ・ワークス													0	メイトウ・ワークス
天白ワークス		1	1	1	1			1			1	1	7	天白ワークス
はまなす	18	13	9	11	13	13	13	13	12	12	13	12	152	はまなす
法人全体	18	14	10	12	14	13	13	14	12	12	14	13	159	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながら、利用者のニーズに基くサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

メイトウ・ワークスが始まってから３５年の歳月が経過し、建物の修繕が必要になってきた。家族会のご協力で、各所の修繕が始まっている。継続してリフォームを行い、利用者に快適な日中活動の場を提供していきたい。また、提供プログラムの見直しを行う年にもなった。とかく職員配置に左右される自主製品制作作業を整理し、利用者中心に行える下請け作業を増やしている。安定した作業提供で活動の充実を図っていきたい。

１．各事業共通

（１）作業種目と年間売上状況（単位：円）

	陶　芸	縫　製	下請他	計
平成 29 年度	338,288	1,499,323	321,250	2,158,861
平成 28 年度	430,033	1,626,151	276,490	2,332,674

（２）作業内容

● 縫製作業

変身ぬいぐるみの製作。全国の保育所や子育てサークルから注文を受けている。作業工程が多く、能力に合わせた作業があり、多数の利用者が参加した。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、お皿などの小物陶器を製作。土に触れる、型抜き、成形、素焼きの絵付け、焼成後の仕上げなど多くの作業工程が行える。

● 下請け作業

自動車部品の組み立て、部品の袋詰め、仕分け作業など、作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラムとなっている。

（３）利用者給与支給状況

・就労継続支援Ｂ型　時給 70 円（最も多い方で 6,930 円／月）
　夏冬賞与あり。工賃総額　848,390 円
・生活介護　日給 100 円　夏冬賞与あり。工賃総額　651,080 円

（４）レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムは生活介護を中心に行っているが、交流行事は全体で取り組んでいる。

● リラクゼイションプログラム
● 創作活動

- グループハイク
- 音楽活動
- 全体行事
  - ・クリスマス会（ポケットの会）
  - ・バレンタイン企画（めいとう朗読会）
  - ・家族会ボランティア交流会
  - ・あそびひろば（高針北保育園交流）
  - ・書初め大会

（５）地域交流

年間を通してボランティア様に来所いただき、作業やイベントを通して、利用者との関わりを深めている。

高針北保育園「あそびひろば」に招待参加、また、メイトウのクリスマス会に園児さんを招待して楽しんでいただいた。名東の日（区民まつり）、平和の丘春まつり、めいとう福祉まつり、名東保健所主催のエコフェスタ、コミュニティーセンターの行事など地域で行われるイベントやバザーに参加して交流を深めた。

（６）地域貢献

・隣接するコミュニティーセンターと連帯して、地域のイベントを行った。
・駐車場を南自動車図書館（あおぞら号）の巡回ポイントとして利用いただいた。
・隣接する保育園の送迎時間帯に駐車場をお貸しして、路上駐車の軽減に貢献した。
・地域の中学生の福祉体験や職場体験を行った。
・大学生の介護体験や名古屋市職員の新人研修など随時受け入れた。

２．就労継続支援Ｂ型事業

通所による就労や生産活動の機会を提供している。陶芸や縫製作業、下請作業など、高品質の製品を製作し、作業の準備から納品まで自主的に行動できるよう支援した。研修の機会として工場見学を実施した。隔週で利用者会議を行い、作業やスケジュールなど利用者同士で確認している。

３．生活介護事業

作業を中心とした活動を行うことで、社会参加と日中生活が安定するよう支援した。余暇支援として、音楽活動、季節行事、グループハイク、ウォーキングなどを行った。又、リラクゼイションプログラムとして足湯やアロマセラピーなど行っている。

天白ワークス

２９年度は、整備された玄関前スペースを活用し、玄関前スペースに陶芸作品を展示して、天白ワークスで陶芸を行っていることのアピールに努めた。また、ロト喫茶のショーウィンドウに陶器のコップやお皿、小物を展示し、親しみのある喫茶店のイメージ作りに努めた。

少しずつではあるが、リピーターのお客様も増えてきており、地域に開かれた施設へ向けて進むことが出来た。

１．各事業共通

（１）作業種目と年間売上状況（単位：円）

	陶　芸	焼き菓子	精　米	下請け他	計
平成 29 年度	1,022,159	1,727,858	0	968,953	3,718,970
平成 28 年度	532,414	1,771,704	0	713,293	3,017,411

（２）作業内容

● 陶芸

食器(コップ・皿)、置物、マグネット等を製作。形成、水拭き、絵付け・釉掛け、仕上げを行った。

● 焼き菓子

クッキー・パウンドケーキ等の焼き菓子を手作りで製造し販売した。材料の準備、計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装の工程を、利用者が役割分担した。

● 精米

２９年度は休業した。

● 下請け

部品の組み立て、製品の袋詰め等、工程がわかりやすい作業を行った。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加した。

（３）利用者給与支給状況

生活介護　　100 円／日　　平均工賃額　3,082 円

就労継続支援　基本給・評価給　平均工賃額　8,717 円

夏・冬賞与あり

工賃総額　1,891,194 円

（４）レクリエーションプログラム・イベント

生活介護を中心に行っているが、グループハイク・交流会・クリスマス会は、就労継続 B 型の利用者も会議による話し合いによって参加を決めた。

● グループハイク
グループ別に場所や内容を選んで参加した。

● 音楽療法
月２回　講師によるミュージックケア　２グループに分けて利用した。

● 家族交流会
利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的に実施。今年度はサンプラザシーズンズにて、ゆっくりと食事をしながら親睦を深めた。

● クリスマス会
ゴスペルグループによるクリスマスコンサート

● スポーツ大会
ソフトボール大会、フットベースボール大会に参加した。

（５）地域交流
・あけぼの学園祭り
・マーガレット・マルシェ
・天白区かおの見えるアート展
・近隣にお住いのボランティアさんが活動の可能な日・時間で参加いただいている。

（６）地域貢献
教職課程履修の大学生の介護体験実習

２．就労継続支援Ｂ型事業

作業することで自分の仕事が給与となることを意識して頂けるように支援を行った。その一環として工賃日に本人の工賃袋を持って外食に出かけた。中には外食よりも自分が欲しいものに給与を使いたいと外食に参加されない方もおられ、お金に対する意識が高まったことを感じた。

工賃には評価給を導入し、正確に継続的に作業することの意味や、他の利用者と協力することの大切さを意識していただけるよう支援した。

月１回の会議で仕事、対人関係や余暇活動等の日程や参加を話し合いで決めた。
(利用者が司会・記録を務めている)。

３．生活介護事業

利用者の個々の特性に合わせたグループ別に作業を提供した。
作業を通じて社会とつながり、貢献していくことを目指した。
健康支援としてウォーキング、リフレッシュプログラムとして散歩をおこなった。
陶器・焼き菓子の製品を喫茶店で利用販売し、施設の紹介に努めた。

はまなす

今年度も午前は作業プログラム（下請作業等）を、午後はレクリエーションを主体とした活動を行った。レクリエーションにおいては、今年度より、陶芸に加えて創作（主に絵画）の時間を新たに設け、自由に描く絵画に挑戦した。

今後も、現状の作業量の確保と、レクリエーションの内容の向上を目指して、利用者全員に満足していただけるプログラムを、工夫しながら設定していきたい。

生活介護事業

（１）作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下　請
平成 29 年度	154,545
平成 28 年度	139,640

（２）作業内容

ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止め、ポケットティッシュの包装等

（３）利用者給与支給状況

500 円／月　工賃総額：137,500 円

（４）レクリエーションプログラム・イベント

● 散歩

公用車を使用して近隣の公園や公共施設へ出かけ、散歩、散策を行った。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを替え実施した。

● 通常のレクリエーション

毎日午後の時間帯にカラオケ、リラクゼーション、スポーツ、音楽、お菓子作り、創作活動、身体活動等のレクリエーションを行った。レクリエーションの内容を曜日ごとに固定化し、利用者の参加の定着を促進した。

● ソフトボール大会への参加

4 月及び 10 月に小幡緑地西園球技場において、天白ワークス、レジデンス日進との合同チームで大会に参加した。

● スポーツ大会

6 月 23 日（金）午後より、名古屋市障害者スポーツセンター体育室において、家族会と合同で小運動会を行い、家族会やボランティアとの交流を深めた。

● プール活動

7 月から 8 月にかけ小グループにて、名古屋市障害者スポーツセンター室内プールを利用した。

● 夏まつり

8月9日（水）の午後から、ビンゴゲームや軽食などで楽しんだ。

● グループハイク

5～6月と9月、11～12月の３回、小グループによる日帰り旅行を実施した。１回目は野間灯台、四日市港ポートピア、瀬戸蔵、もくもくファーム、ラグーナ蒲郡、２回目は明治村、愛知健康の森、浜名湖ガーデンパーク、御在所ロープウェイ、名古屋港水族館、３回目は、名古屋港水族館、甲賀忍者村、あいち航空ミュージアム、しあわせ村、アクアトトぎふに出掛けた。

● フットベースボール大会への参加

10月24日（火）に田辺陸上競技場において、天白ワークスとの合同チームで大会に参加した。

● 家族交流会

グループハイクを１回増やし、実施していない。

● クリスマス会

12月20日（水）午後から、音楽活動と共に楽しんだ。

（５）地域貢献

5/28・11/26　高針台一丁目町内会一斉清掃

8月　極楽学区盆踊り大会協賛金協力

10月　秋の祭礼「たかほくまつり」へバザー品を提供協力

また、区内中学生の福祉体験、職場体験等の受入れや、名古屋市新規採用職員研修、ホームヘルパー実習及び大学・専門学校からの教員免許介護体験、社会福祉士現場実習等の学生実習も随時受入れた。

レジデンス日進

生活介護事業については、イベント活動は維持しながらも、前年度より取り組んでいる就労継続支援 B 型での作業を取り入れたことで、作業をベースとした日中活動の雰囲気が出来上がってきた。

就労継続支援 B 型事業においては、安定的な作業を提供することができ、前年度並みの工賃を支給することができた。

健康面においては、健康診断、体重測定等の結果からウォーキングを中心とした運動プログラムを継続して実施することができた。

１．各事業共通

（１）作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下請他
平成 29 年度	1,333,220
平成 28 年度	1,358,689

（２）作業内容

施設近隣の会社からの下請け作業（自動車部品の組立て、ガス器具の部品組立、水洗トイレの部品組立など）を主な作業（生産活動）として提供した。

（３）利用者給与支給状況

年間総計で 1,482,020 円を利用者に還元している。内訳としては、生活介護事業対象者に夏期及び冬期の賞与一時金として 508,190 円、就労継続支援Ｂ型事業対象者は 973,830 円を支給している。

（４）レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラムは生活介護を中心におこなっているが、大きなイベントに関しては、就労継続Ｂ型の利用者にも参加してもらっている。特にイベントについては、季節感のある行事を意識して実施している。

● 季節行事

- お花見：生活介護のみ。レジデンス日進前の桜を鑑賞した。
- はるまつり：レジデンス日進・上ノ山ホームの休日余暇としての位置付け。基本的に親子での参加形態をとり、午前中は上ノ山の竹林でたけのこ掘りをおこない、午後からはゲームや模擬店等でおまつりの雰囲気を味わった。
- 流しそうめん：生活介護のみ。昼食としてそうめんを味わった。
- なつまつり：日中は生活介護のみ。花火は、ナイトケア事業の余暇支援として位置付

け。午後からスイカ割りとかき氷、夕食後は、花火を楽しんだ。

- ➢ バスハイク：生活介護・就労継続 B 型共通。2 グループに分かれ、観光バスを利用して「伊賀流忍者博物館」「滋賀農業公園ブルーメの丘」に出掛けた。
- ➢ あきまつり：レジデンス日進・上ノ山ホームの休日余暇としての位置付け。基本的に親子での参加形態をとり、模擬店、ゲーム、ステージ企画等を楽しんだ。
- ➢ クリスマス会：生活介護のみ。地元のボランティアサークルの皆様にお越しいただき、クリスマスソングを演奏していただいた。
- ➢ 初詣：生活介護・就労継続 B 型共通。地域の神社に出掛けた。
- ➢ 節分：生活介護のみ。職員が鬼となって豆まきをおこなった。

● スポーツイベント

- ➢ ソフトボール大会：生活介護・就労継続 B 型共通。5 月、10 月に法人合同チーム（天白ワークス・はまなす）でソフトボール大会に参加した。
- ➢ ゴルフ観戦：主催者からの招待があり、中京テレビ・ブリヂストンレディースオープンを観戦した。

● その他

- ➢ 毎月、第 2 金曜日に言語聴覚士でもあり、障害児・者に和太鼓の指導をされている先生に来ていただき、太鼓の音、響きを体感することができた。
- ➢ 第 4 金曜日に音楽療法の講師に来ていただき、音楽活動を楽しんだ。
- ➢ 第 2、4 火曜日に飼い主の方に訓練を受けたセラピー犬を連れて来ていただき、動物と触れ合うことで癒しの空間を提供した。

（5）地域交流

- ・ はるまつりでは、近隣の喫茶店にお花見弁当を注文した。
- ・ ゆったり工房あじさいコンサート（日進市内の他事業所主催に協賛）に参加した。
- ・ 日進市チャレンジド夏祭りに出店した。
- ・ 日進市民まつりに出店した。
- ・ あきまつりでは、地域との交流を目的として、地元のお囃子保存会の方々、老人クラブの方々もお招きした。
- ・ 日進市の障害者団体連絡会主催のクリスマス会（法人嘱託医中心のドクターズバンドのコンサート）に参加した。
- ・ 毎月 10 日に就労継続 B 型の人たちで近隣の中華料理店に昼食に出掛けた。

（6）地域貢献

- ・ 近隣の大学・専門学校からの保育士実習の受入れをおこなった。（3 回、6 名）

・ 隣接した日進西学童保育所の子供たちになつまつりに参加していただいた。
・ 隣接した日進西学童保育所、動作法訓練会（つばさの会)、子育て支援グループ、地域の市民グループに「デイサービス 2 階」及び「地域交流スペース」を活動場所として提供した。

２．就労継続支援Ｂ型事業

日進市上ノ山の作業棟において下請けを中心とした作業提供をおこなった。特に複数の業者から仕事を受け負うことで、ひとりひとりにあった作業を提供できるよう調整した。

工賃に関しては、年 2 回、作業の質・量を評価することで、個人の作業能力に応じて支給することができた。

３．生活介護事業

昨年度からの取り組みとして就労継続支援 B 型で請け負っている仕事の一部を持ち込むことで、特に自閉傾向の方を中心に構成されているデイサービス 1 階での活動が安定させることができた。

変化に柔軟に対応できる方が中心となっているデイサービス 2 階においては、作業提供と和太鼓・音楽療法・アニマルセラピー、アート活動といった外部の方の協力を得たプログラムを継続して提供することで、風通しの良い活気ある雰囲気をつくることができた。

また、健康を意識して、公園での散歩、音楽に合わせたウォーキングを積極的に取り入れることができた。

＊　参　考

	メイトウ・ワークス	天　白ワークス	はまなす	レジデンス日　進	法人全体
陶　芸	338,288	1,022,159			1,368,947
縫　製	1,499,323				1,499,323
焼き菓子		1,727,858			1,727,858
精　米					
下請け他	321,250	968,953	154,545	1,333,220	2,769,468
計	2,158,861	3,718,970	154,545	1,333,220	7,365,596

H28 年度	2,332,674	3,017,411	139,640	1,358,689	6,848,414
H27 年度	2,546,322	3,251,406	112,378	1,378,760	7,288,866
H26 年度	2,540,818	6,176,321	123,625	987,064	9,827,828

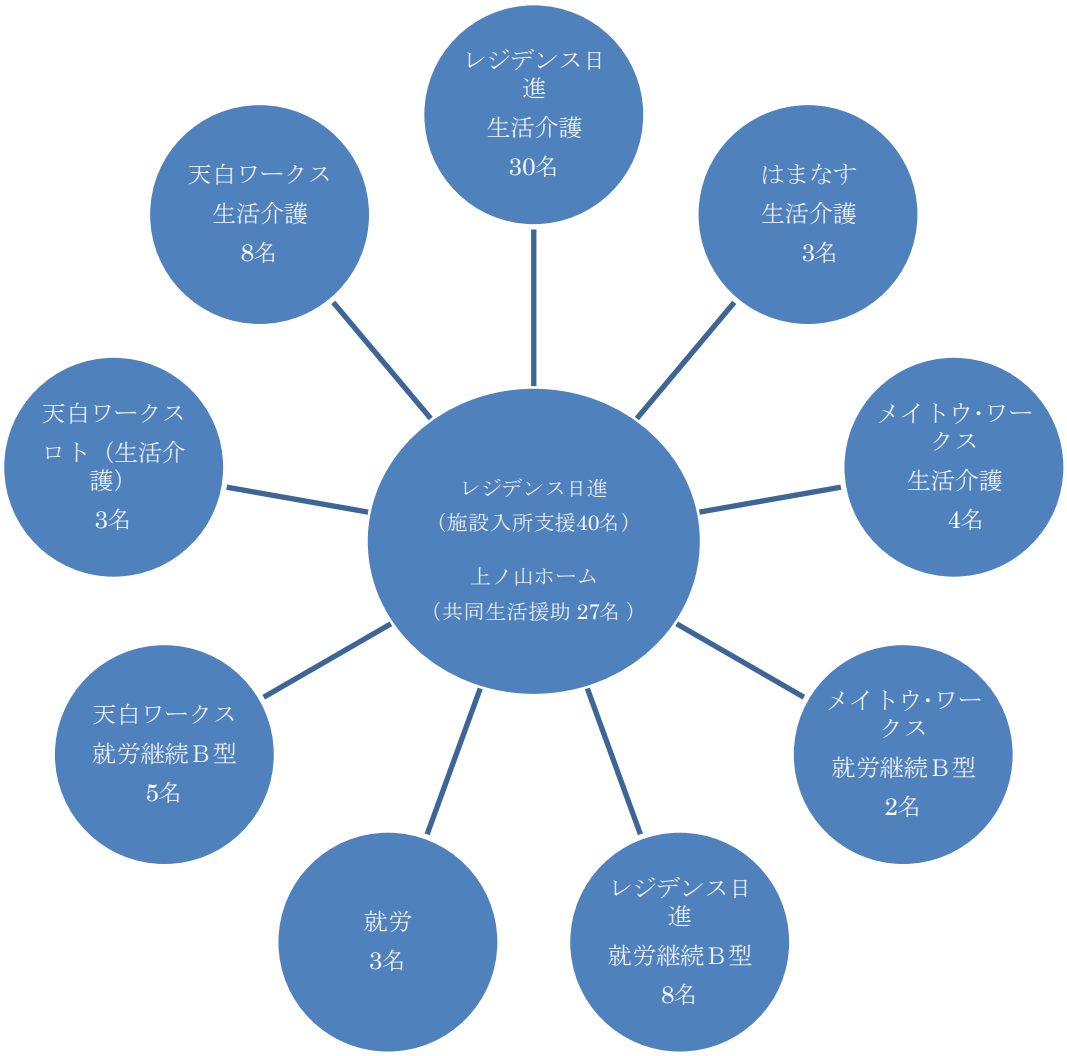
ナイトケア事業

名東福祉会では、レジデンス日進を生活支援の拠点としてグループホームを展開しています。レジデンス日進の 4 つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットと考え、ナイトケアのノウハウを生かすことで、安定したサービス提供を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

１．生活の場と日中活動の場の連携

施設入所支援においても他事業所を利用できるよう支援することがレジデンス日進の大きな特色である。利用者の方々に安心して生活していただくためには、日中活動事業所との連携が不可欠であることから、利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するよう努めた。



２．ナイトケア事業間の連携

施設入所支援及び、共同生活援助をナイトケア事業として位置づけ、職員配置、勤務割り等を一体化して管理体制を維持することができた。また、法人の通所事業所の職員による夕方からの、生活支援（夕食・入浴など）を中心にバックアップの協力についても継続実施できた。

３．ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は１ユニット 10 名程度のユニット単位、同様に、上ノ山ホームでも１住居（ユニット）9 名での生活支援を基盤にして、完全個室での個別対応による利用者の生活の安定を図った。特に、入浴は、各ユニット（住居）に浴槽 2 箇所設置しており、毎日、個別に入浴するスタイルも継続実施できた。また、共有スペースには、テレビ、テーブル、椅子等を配置して、朝、夕の食事はもとより、利用者がくつろげる空間として提供した。

４．健康管理

レジデンス日進及び上ノ山ホームのナイトケア事業所における健康管理の重要性を踏まえ、看護師が中心となり、現場支援員との連携を図りながら取り組んでいる。

年 2 回の定期健康診断を実施。個々の状態により毎日・毎週の体重・血圧測定を実施。又、訪問歯科検診、インフルエンザ予防接種を実施した。

生活習慣病予防対策として、対象利用者は毎朝（休日は除く）及び午後からの時間を利用して 30 分間のウォーキングを実施した。

感染症対策（発症時の対応マニュアル整備）、通院支援として体調不良の利用者に対しての早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への受診も継続支援できた。往診（月 2 回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意した。

利用者個別の「体調シート」を作成し、利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置(入浴時にチェック)、状況を記入し、状態の把握・共有を図り適切な支援・介護に努めた。

また、夜間帯には緊急対応マニュアル（てんかん発作時の個別対応シート含む）を各ユニットに設置し、6 名の職員が緊急時にも連携をとり、より早く対応できるよう努めた。

５．防災対策

専門業者による消防設備点検、災害時用の備蓄（7 日分）、緊急マニュアルの整備、避難誘導訓練（隔月）をおこなった。

６．金銭等の管理

利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨としておこなった。また、年金及び現金管理をしている利用者には行政等の手続きの代行、年金管理を家族・後見人等に任せている利用者には現金のみ事業所が預かり管理した。

７．季節行事

ナイトケア事業の季節行事として、花火大会（なつまつり）、年始の餅つきをレジデンス日進・上ノ山ホーム合同で実施した。レジデンス日進単独としては、クリスマス会を実施した。その他の行事（はるまつり、あきまつり、バスハイク等）は、日中活動と連動させ

た形でおこなった。給食では年末・年始、節分・ひなまつり・端午の節句など時季に合わせた献立を考慮して提供した。

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、療育支援事業等を通じて、地域にお住まいの障害のある方々の生活を支える取り組みにも力を入れてきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのためのネットワークの構築は必須です。

そんな中、名東区障害者基幹相談支援センターは、総合相談や地域づくりといった地域生活支援の拠点機能を担っていきます。

また、はまなすには指定特定相談支援事業所を併設し、計画相談の提供を行っています。

計画相談、障害児相談の契約者は、両事業所で 180 名となります。

名東区障害者基幹相談支援センターきふね

１．相談業務

（１） 相談受付の状況

平成 29 年度に受けた相談で、相談受付票作成分は以下の通りである（軽微な問い合わせ等は含まれていない）。前年度に比べ、実人数が１割減少している一方、障害種別で見ると、身体障害者手帳をお持ちの相談者が１割以上増えている。

相談内容では、サービス利用に関する相談の件数が当然多いが、知的障害のある単身者への関わりや、思春期に入ってから愛護手帳の取得を考える親御さんからの相談が目立った印象もある。また、家族関係に課題のあるケースも多い。

【居　所】

	名東区	千種区	天白区	南区
相談者数	118	2	1	1

日進市	東海市	岡崎市	高松市	計
3	1	1	1	128

【年齢―性別】

	児童（～17 歳）	成人（18 歳～）	計
男	9	46	55
女	4	49	53
性別不詳	2	18	20
小計	15	113	128

【障害別（複数カウント）】

種　別	身体	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳機能	不明・無手帳
相談者数	72	1	49	31	13	3	17

【相談内容（複数カウント）】

	サービス利用	障害･症状の理解	健康･医療	不安解消･情緒安定	保育･教育	家族関係･人間関係
相談件数	96	21	57	22	11	67

家計･経済	生活技術	就労	社会参加･余暇活動	権利擁護	その他
44	36	29	23	13	63

（2）月別実績

認定調査件数が前年度に比べて 3 割程度増加している反面、相談件数が微減している。認定調査対象者中の高齢者の占める割合は相変わらず高まっており、高齢障害者の増加のため、サービス利用が増えていると思われる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	訪問	27	30	46	28	36	32	42	26	39	28	33	40	407
	外来	46	72	67	52	58	49	53	32	62	63	59	57	670
認定調査		26	14	16	19	27	20	19	24	25	18	31	28	267
配食アセス		1	1	1	0	3	5	5	1	3	2	2	3	27
計画相談	案	1	3	4	1	5	9	1	0	3	3	2	3	35
	計画	1	2	4	2	2	7	2	0	1	2	0	4	27
	モニタ	2	0	4	4	2	4	3	2	6	1	1	4	33

2．名東区障害者自立支援連絡協議会

障害者自立支援連絡協議会は、地域で暮らす障害のある方々やそのご家族の抱える生活課題を、地域の様々な立場の方々が協働することによって解決していこうという仕組みである。名東区では、区福祉課・保健所・基幹相談支援センターが事務局となり、当事者団体や事業者の代表、社会福祉協議会で構成している。

平成 29 年度からは名古屋市自立支援連絡会が立ち上がり、区単位で解決できない地域課題を検討する場となったが、支援者の不足が様々な会議で取り上げられ、取組を模索する一年となった。

	開催数	主な内容
全体会	4 回	各部会の集約・地域課題の確認、検討・制度動向
事務局会議	12 回	協議会運営・計画相談の状況・制度動向・事例検討
まもる部会	12 回	差別解消・障害特性理解・意思決定支援・事例共有
しる部会	12 回	支援者のつながり・余暇支援
うごく部会	12 回	移動の支援・ヘルパー事業所空き情報の共有
そだつ部会	13 回	障害児支援・ネットワーク
事業者連絡会	2 回	支援者のメンタルヘルス・職場内コミュニケーション

3．関係機関・団体との連絡調整会議／職員の講師派遣

行政や地域の関係機関との連携、相談支援体制整備への協力のため、外部会議への参加や研修講師派遣に努めている。国レベルから地域の関係団体まで幅広く対応している。

会議名	参加数	参加機関等	内　容
連絡調整会議			
名東区地域包括ケア推進会議	2回	区民の代表・医療関係者・介護保険事業者の代表・区いきいき支援C・区社協・区関係課・区基幹C	部会報告・30年度事業計画
名古屋市障害者基幹相談支援 C運営・調整会議	5回	名古屋市関係課・関係機関・各区基幹C	制度動向や市施策の説明、テーマ別の話し合いなど
名古屋市自立支援連絡会	5回	各ブロック代表基幹C・名古屋市関係課	地域課題の検討
名古屋市施策推進協専門部会	5回	学識経験者・障害福祉関係団体・名古屋市関係課	第 5 期障害福祉計画および第 1 期障害児福祉計画の検討
東ブロック会	6回	千種区、中区、昭和区、名東区の各基幹C	市連絡会関連の報告、検討・精神障害者の地域移行・地域課題の共有、検討
名古屋市触法障害者支援情報交換会	2回	愛知県定着支援 C・関係行政機関･各区基幹C	触法障害者の地域定着支援に関する検討
愛知県障害者自立支援協議会	5回	関係する機関や団体・当事者団体の代表・学識経験者・愛知県	部会：県主催委託研修のあり方 本会：各部会報告、障害福祉計画のチェック
相談支援従事者指導者養成研修検討会	1回	厚生労働省・各都道府県からの検討委員	国研修の内容の検討
講師派遣			
民生・児童委員学区協議会	2回	各学区の民生・児童委員	依頼内容に応じた障害に関する勉強会
地域団体向け制度説明	4回	事業所親の会・訪問看護連絡会･MSW研修会	依頼内容に応じた制度動向に関する勉強会
名古屋市相談支援従事者研修	1回	名古屋市主催	各区基幹 C スタッフのスキルアップ
愛知県相談支援従事者現任研修	5回	愛知県主催	県内相談支援専門員の資格更新研修
愛知県相談支援従事者初任者研修	7回	愛知県主催	県内障害福祉関係者の相談支援専門員資格取得研修
相談支援従事者指導者養成研修	1回 （3日）	厚生労働省主催	各都道府県を対象とした指導者養成研修

４．職員研修

基幹相談支援センターとしての役割を果たすことができるよう、研修参加を促している。様々な障害特性の理解に加え、各分野との連携や制度理解など、テーマも広がっている。職員ミーティングを通じて、研修成果の共有にも留意した。

開催日	名称・内容
6/24	日本相談支援専門員協会「相談支援と権利擁護」
7/6	名古屋市障害者雇用支援センター「名古屋市における就労移行支援事業所の現状及び当センターの概要」
10/5	地域生活支援研修「『我が事・丸ごと』の地域づくりの推進について」
10/16	名古屋市障害者虐待受付機関職員連絡会・研修会
10/31	名古屋市相談支援従事者研修（中堅Ⅰ）
11/30	名古屋市障害者虐待・差別解消合同研修会「相談援助職の記録の書き方」
12/11	名古屋市相談支援従事者研修（全体）「療育センターとの連携について」
2/22	同上　「災害と障害」

指定相談事業所　はまなす

今年度は、新規での契約は 21 件（うち法人内利用者 16 件）となった。
知的障害のある相談者の増加が目立っている。

１．契約者の内訳

【居　所】

	名古屋	日進	尾張旭	瀬戸	豊田	北名古屋	江南	一宮	愛西	計
人	129	11	2	2	1	1	1	1	1	149

【性　別】

	男	女	計
人	84	65	149

【障害種別】

	身体	知的	精神	計
人	14	117（12）	18（2）	149

＊（　）内は児童の内訳

２．職員研修

実施日	名称等
7/2,21,8/17	愛知県相談支援従事者現任研修
8/28	福祉施設における苦情解決リスクマネジメント ～良質な福祉サービスの実現を目指して～
11/29	支援者のメンタルヘルス
2/19	信頼を生むコミュニケーション術
3/13	車椅子講習会

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体で行いたいと考えています。法人・事業所の特色を生かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

１．委員会

【安全委員会】

（１） 目　的

ヒヤリ・ハット報告書の内容を分析し、特に事故や怪我につながる可能性が想定されるケースを中心に各事業所で検討するための情報提供をおこなう。

（２） 構　成

各事業所希望職員３名、本部長

（３） 活動報告

会議開催５回（5/25　7/28　9/22　12/22　1/26　2/27）

（４） 成果等

ヒヤリ・ハット事例の分析をおこなうことで法人全体、各事業所の事故・怪我等に関す傾向についての認識を深めた。

ただ、参加職員の職種の都合上、参加が難しく、開催できない回数が増加していること、ヒヤリ・ハット報告書の減少など、委員会の見直しが必要である。

【安心委員会】

（１） 目　的

利用者が安心して利用できるプログラムを提供することを目的とし、現場での実際の利用者の行動を基に、アセスメントから支援方法の検討、改善、反省のサイクルで職員の支援技術向上を図った。

（２） 活動報告

昨年度対応した「物を投げる行為」が頻発した利用者への対応を継続した。

環境改善により、他の利用者との関係が幾分改善され物投げ行為は減少したが、身につけた行動として突発的に物を投げる行為が発生するために、過剰修正法により物を投げたら即座に本人にひらってもらう支援を導入した。

支援導入後、物投げ行為が完全になくなったわけではないが、投げそうな素振りを見せた場合も、投げずに済むようになってきたため、他の利用者との関係を配慮した上で、同じテーブルで作業できるようになった。

※過剰修正法

問題行動によってもたらされた環境の変化を、問題行動の前よりも良好な状態にまで修復させる方法。

（3） 成果等

利用者の行動を主観的に捉えるのではなく、丁寧に行動をアセスメントすることにより、問題行動に適切に対応することが出来た。

【接遇委員会】

（1） 目 的

利用者への関わり方の質を向上させようとする姿勢が、虐待の防止や権利擁護につながると考え、日頃の支援のあり方について法人・事業所単位で振り返る機会を持つ。

また、その結果をフィードバックして、さらなる向上を促す。

（2） 構 成

理事長・各事業所管理者・職員

（3） 活動報告

	年月	内 容
1	H29.6	事業所毎に、利用者家族や他の事業者、地域の方々など、事業所に出入りする方々への接し方を振り返り、意見交換した。
2	H29.11	各事業所のリーダー養成を目的とする「支援リーダーのしごと」研修にて、虐待防止について意見交換を行った。

（4） 成果等

接遇の向上や虐待防止の取組として、1回目は各事業所管理者、2回目は各事業所のリーダー職員により実施した。スローガンを掲げることで終わるのではなく、職員一人一人に意識してもらえるよう、継続していきたい。

【給食委員会】

（1）目 的

提供される給食の内容を検討することにより、より安全で、品質の高い食事提供を目指す。

また、委託業者と法人が食事提供に関して共通の目標を持ち、給食メニューの見直しをおこなう。

（2）構 成

法人：本部長、レジデンス日進所長、栄養士、事業所支援員各１名

委託業者：エリアマネージャー1名、管理栄養士１名

（３）活動報告

毎月第２木曜日に開催

・ 前月の給食内容（献立・提供方法など）についての検討
・ 利用者個別対応の確認（健康・食品アレルギー等の考慮）
・ 新規メニューを含めた献立の検討
・ 衛生面、感染症対応の確認

（４）成果等

各事業所の検食簿に記載された内容を基にして、味付け、食材のバランス等、委託業者の献立作成の参考となるような話し合いをおこなうことができた。

健康面を意識したメニューについて検討され、次年度から麦ご飯を取り入れることを確認することができた。

２．研修会等

【「支援リーダーのしごと」研修会】

（１） 目　的

技術や知識、アレンジ力（配置する、整える力）・アドリブ力（臨機応変な対応力）など、総合的なスキルアップを図ることで、リーダーシップ力を身につけ、法人全体を視野に入れて利用者支援ができる職員を目指す。

（２） 構　成

理事長、常務理事、各事業所副所長・ユニット責任者、職員

（３） 活動報告

	年月	内　容
1	H29.5	人手不足について考える
2	H29.6	過去の自分と今の自分を比較してみよう
3	H29.7	前理事長からのメッセージを受けて
4	H29.9	3 年後、5 年後、10 年後にどんな姿勢で、どんな意識で、どんな仕事をしていたいか（目標・目的）
5	H29.11	虐待防止について
6	H29.12	人手不足への対応につて（2）
7	H30.1	リーダーに必要なことは何か？
8	H30.2	連携とコミュニケーションについて
9	H30.3	Ｋさんの支援について

（4） 成果等

将来の管理者を意識しての職員育成を目的として今年度スタートさせた研修会であるが、初回から積極的に発言等があり、前向きに取り組んでいける研修会となった。

特に最後に取り上げたケース検討は、日々支援現場で直面している話題でもあり、研修会で事例検討をおこなう必要があることを確認できた。

【日中活動勉強会】

（1）目　的

将来的な日中活動の内容について、長期的視点で検討する。加えて、法人内事業所の職員の交流を図るため、各事業所で勉強会を開催する。また障害に関する知識や障害福祉制度の理解のための情報提供を行なうことで、各事業所での日中活動にフィードバックしてもらう。

（2）構　成

各事業所希望職員・基幹相談支援センター職員

（3）活動報告

	年月日	内容
1	H29.5.19	昨年度の報告、障害福祉の基礎知識、個別支援計画、課題解決
2	H29.6.16	名東福祉会の理念、課題解決、グループワーク
3	H29.7.21	名東福祉会が大切にしてきたこと、課題解決、グループワーク
4	H29.9.15	意思決定ガイドライン、グループワーク
5	H29.10.20	「選択とは何か」、グループワーク
6	H29.12.15	課題解決、グループワーク
7	H30.1.12	メンタルヘルス
8	H30.2.16	平成 30 年度制度改正、課題解決、グループワーク

（4）成果等

本年度は、各事業所の現時点での課題に焦点を当て、その解決にどのように取り組んでいくのか、グループワークを行なってその端緒を掴んでもらう、という取組に重点を置いた。今後も、各事業所のプログラムの改善につながる具体的な取組について検討していきたい。

3. 機関誌「ＷＯＲＫＳ」編集部

法人機関誌「ＷＯＲＫＳ」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.140（5 月発行）

「アートを支援する～障害のある人のアート支援～」　職員インタビュー

No.141（9 月発行）

「支援リーダーのしごと研修会レポート」